

春風秋霜 11月号

令和2年11月1日
島田市教育委員会より
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 学校における要・不要について

2学期になり延期されていた小学校の運動会が行われています。各学校は、コロナウィルス感染の対策を取りながら、工夫した運動会を行っていました。参観した学校の中には、学年ごとの入れ替えをして競技を進めている学校もありました。

学校行事は子供たちにとって大きな楽しみであり、行事によって育つ子供もたくさんいると思います。運動会や文化祭の他、修学旅行を工夫して実施していることに感謝します。

大津小学校の小島校長は、コロナ禍において職員が積極的になったと話してくれました。管理職の指示を待つ傾向があったこれまでに比べ、自分の考えを提案する職員が多くなったということです。誰もが未経験なコロナ対応は、自ら考えなければならないことが多かったからです。コロナ禍において見直した行事は、結果を分析し、どのように行うことが子供たちにとって有益かを考えることが大切だと思います。コロナ禍は新しい視点を与えてくれたと考えることも大切だと思います。

2 ライフプランを考えましょう

12月になると人事が動き始めます。異動調書も出さなくてはなりません。異動は教職員全員の希望が叶えられればよいのですが、希望が叶うばかりではありません。子供の数によって教員数も変わるし、退職者や生活転希望者の存在の他、学校組織の硬直化を防ぐためにも、異動は必要になります。特に本年度末は、北中と湯日小の統合により、異動が大きくなると予想されます。

私は校長職だった時に、「今後の10年間のライフプランを考えてほしい」と言ってきました。異動が避けられないなら、積極的に異動を考えてほしかったからです。年齢によって自己課題は様々だと思いますが、自分のスキルアップのために、どこに異動すべきかを今から考えるとよいでしょう。退職後の人生設計を必要とする人もいるはずですが、どうせ異動するなら、挑戦する姿勢が必要だと思います。

3 学校訪問から

10月19日(月)に教育委員で初倉小学校を訪問しました。特に印象に残ったのは、特別支援学級の様子です。低学年の教室では絵画作品に驚かされました。細かいところまで丁寧な色塗りがされている上、主人公の顔がどれも素敵な笑顔だったからです。



高学年の教室では、「か」が頭につく文字探しの授業でした。3文字くらいは簡単に探せても、5文字となると苦戦する子供が見られました。必死になって探した文字は、「かりんとう」「かたつむり」など、子供の生活を垣間見るような言葉だったので、教師が一人一人

に応じて声掛けをし、子供は大変うれしそうな表情をしていました。真剣さと楽しさのある素敵な授業でした。

通常学級では、1年生の授業において個人追求時のざわつきが教師の指示で静かになったり、6年生の授業では子供同士で協議が成立していたりと、授業の充実と子供の成長を見ることができました。なにより、学年や教員によって授業に差がないことが素晴らしいと思いました。

4 中学校の音楽交流会に参加して

9月26日(土)に中学校の音楽交流会に参加しました。今年は三密を避けるため、おおるりホールではなく島田第二中学校体育館を会場に行われました。演奏したり、観賞したりする生徒の間隔を確保するためだけでなく、次に演奏する生徒の待機場所の確保にも島二中の体育館は適していたと思います。



演奏する子供たちからは、コロナ禍における発表の場が無いつらさや交流会という発表の場に立てたことへの感謝の言葉がありました。ゼロリスクを考え交流会を中止する選択もあったと思いますが、子供たちのために実施を決め、様々な工夫をした中学校音楽部の努力に感謝の思いで一杯になりました。

肘かけ椅子

高橋 淳 学校給食課長

「趣味で豊かな人生を」

自分には、特にこれといった趣味はありませんでした。毎週のようにあった子供たちのサッカーの活動が無くなり手持ち無沙汰となった時、ふとそのことに気づき、これでは駄目だと趣味の開拓に動き出しました。

50歳少し前くらいからギター練習開始、53歳で大型自動二輪免許取得とナナハンバイク購入、毎週のパンづくり、農園を造成し野菜づくりなど、今でも何とか続いています。最近では、農園管理と災害時に役立てるとの家族への言い訳のもと、重機講習も受講しました。

趣味を通じて言えることは、その道に精通するとまでは言えないものの、少しだけ蘊蓄を語ることができるのかな、ということです。バイクであれば、ブレーキは止めるだけの装置ではなく、バランスを取る、カーブ手前で車体を傾けるためのきっかけとする役目もあります。農園であれば、後作を考えて次の作物を選ぶ畝の管理、どのように野菜がなるのか、病害虫への対応など実感できました。

海外の研究によると、ある年に日本で生まれた子供の約半数が107歳より長く生きると推計されているとのこと、驚きです。人生100年時代が到来します。

仕事を第一としつつ趣味ともうまく付き合っていく、そんな人生を送りたいと思います。夢はバイクで日本一周、かな！？